



神奈川版
2022年11月号
月間「不屈」

No.581付録
編集兼発行人
宗形孝至

治安維持法犠牲者 国家賠償要求同盟

〒221-0823

神奈川県横浜市神奈川区二つ谷町2-9
TEL/FAX 045-314-1766
E-mail chian.kanagawa@spice.ocn.ne.jp

10月16・17日 山梨県清里町で

関東ブロック会議開催される

県本部会長 宗形 孝至



あいさつする吉田万三会長

昔の話ではなく、マイナンバー制度、国民保険証取りやめ、デジタル化によって国民総監視社会になる。中国やロシアです

先の全国大会で選ばれた、吉田万三会長が歴史、社会進歩に反し、国際社会から糾弾、冷戦時代に逆行させるわけには行かないと平和の外交、地域協力の重要性をのべ、安倍元首相の国葬が行われたことについて、日本は戦前の国葬令など持ち出し、戦争への反省もなく、平和のために犠牲になった方々への賠償もない、国際的にも極めて遅れた国だと指摘、同盟の果たす役割は大きいと述べました。2つ目に、同盟の支部つくりについて「伊藤千代子の生涯」の上映運動と会員拡大の重要性と経験の交流。3つめに、運動をどう若い世代にバトンをつなぐかについてふれ、上映運動が戦前の暗黒時代を回想させるとともに、決して

べて監視されていて独裁国家になり、日本も導入しようとしていると指摘し、同盟の役割と発展強化の重要性を述べました。

田中中央事務局長、関東ブロックの中島事務局長、千葉県会長の小松会長からそれぞれ、全国2万名同盟建設に向け、全国の進んだ経験、東京の40周年記念集会後、遺族を会員に増やし2つの支部の結成と活性化、上映運動は合計で5425名の参加者などについて。千葉県では「伊藤千代子の生涯」の上映運動と会員拡大、犠牲者名簿の作成などの経験を紹介、今なお特高政治が、続いていることを知らせることの重要性と運動、取り組みについて発言しました。

埼玉の上映運動は4887名の観客を動員、3人いれば支部をと、県下72の市町村・行政区の44%に支部を結成し、会員でも毎月前進をはかっていること。山梨では、地域と結びついた運動として署名3000筆の目標に取り組み、北杜市に新しく支部を結成したこと。女性部をつくり、他団体と連携、「伊藤千代子の生涯」の上映運動に取り組んでいることが報告されました。

神奈川の萩島理事が西部支部で、9条の会や新婦人・革新懇・国民救済会などと協力し成功させた経験、上映会の挨拶で、水

(2面上段に続く)

(1面より続く)

谷安子さんの富山県の学生時代、社会主義研究会のサークルに入り、教師とともに逮捕、さらに

姉の「戦争は天皇の責任」と発言したことが、特高警察に知れ、姉妹3人が逮捕、拷問を受けたことに、「国の謝罪がないかぎり死ねない」と老人ホームに入り

所しても「赤旗」を読んで108歳までがんばって今年8月に亡くなったことや、旭区で1000人も憲法9条の会が組織されていることを紹介しました。群馬や、各県の支部から10数人



開会前に立ち寄った吐竜の滝

が活発に発言し、夕食後、各県が壇上から自己紹介やかくし芸などを披露、楽しく交流しました。

翌日は、前川喜平氏（元文部省事務次官）から、日本の教育の反動化、国葬問題、統一協会と自民党の癒着などを説明、熱のこもった講演を2時間にわたって学びました。

ブロック会議に

参加して

県央支部 井上正男

10月16・17日、同朋関東ブロック会議が山梨県北杜市清里の「伊予ロッジ」で開催されました。私にとって、県央支部の地元七沢福元館で2018年に開かれた関東ブロック会議以来2度目の参加となりました。北杜市は、山梨県で最初に治賠同支部が結成された地と紹介され、運営の中心治賠同盟山梨県本部が担われていました。

同盟本部の吉田万三会長は、あいさつの中で①ロシアのウク



記念講演する前川喜平氏

ライナ侵略を通じて世界の流れと国内政治に敏感に、②同盟の独自の役割と自覚の醸成、③千代子の上映運動を通じて同盟建設と世代交代を図ろうとの訴え。同時にマイナンバーカード強制、デジタル監視社会が進行していることに警鐘を鳴らしました。

1日目と2日目の各県・都、地域支部の交流・発言では、千代子の上映運動を通じて同盟員拡大（横浜、市川・浦安、埼玉）の前進。日常活動では、山梨・甲府支部の活動、①会議での学習重視、②ニュースの手配り、③署名は会員全てから協力を得る努力をしている経験。埼玉か

ら役員高齢化の中でオンライン会議の習熟の提案があり学ぶところがありません。

2日目には、前川喜平（元文部事務次官）氏の2時間にわたる講演。私は興味深く聞きました。前川氏は「国葬反対の私にも招待状が来た」と笑いを誘いながら、戦前・戦後の国葬の変遷を語り、戦後の自身がかかわってきた教育行政を振り返り、教育基本法の改悪で道徳教育の復活、教科書に載った例として「子供が野球でヒット打って勝った。監督の指示はバントだった。子供は次回出場停止」。個人の人權重視から家父長的家族観の復活の流れは、安倍政治の登場で顕著に進んだ。政治的背景には、国際勝共連合・統一協会と歴代の自民党政治の「反共」一点での癒着が。私には、9条改悪、軍備増強の流れのなか現憲法擁護の政治勢力の伸長が切実に求められていると痛感したし

県内各地で上映会

「わが青春つきるとも—伊藤千代子の生涯」

7会場13回上映に2480名が鑑賞

8月19日の小田原会場での上映を皮切りに、11月31日までに7会場、13回の上映が行われました。(南足柄での上映は12月3日です)

小田原会場は日本共産党西相地区委員会の党創立100周年記念講演会の前後に2回上映され延べ130名が参加しました。横浜西部支部は9月17日、旭区のサンハートホールで午前、午後2回の上映に407人が参加しました。

横浜中央支部は10月9日横浜健康福祉センターホールで午後



上映し、定員300人いっぱいになり、40人ほど入場ができませんでした。

川崎南部地域では10月10日、国賠同盟川崎支部と国民救済会川崎支部の共催として取り組み、午前午後の上映で559名が参加しました。

茅ヶ崎・寒川支部は国民救済会茅ヶ崎支部との共催で短い準備期間にもかかわらず404人、10月20日(木)午後と夜の設定でした。

「七沢多喜二の会」「治安維持法同盟県本部」共催で10月13日伊勢原市民会館ホールで取り組み県央支部も地元組織として役割を担いました。2回の上映で260名が参加しました。

10月31日(月)の午後、夜

の上映の川崎支部の多摩市民会館には455名が参加しました。(詳細は12月号続報)

各会場とも国賠同盟と他団体の協力で実行委員会がつくられました。参加者の多くが「国賠同盟は知らなかった」とアンケートにこたえています。参加者への同盟入会働きかけを進め、支部づくりにつなげていくことが重要になっています。

茅ヶ崎寒川支部

一宮 眞理

8月25日に第1回をやり4回の実行委員会を経て当日を迎えました。茅ヶ崎寒川の民主団体と共産党に呼びかけて委員を募りました。茅ヶ崎寒川の救済会の方から、やりたいといわれてはじめましたが、我々もちようどそのことを論議しはじめていたんです。けど推進力がなかったのでも助かりました。よい映画をみる会の人はずんずんと実務を担ってくれたのでやれた

と思います。チラシ刷り手配やチケットつくりと配券、報道関係といったことです。

私は当日に配るものを編集印刷しました。それを当初250部準備したのだが、前日にも足りなくなるとして増し刷り、そして昼間の部に300人超えたのでまた印刷にのんでいきました。

一日で370人超えたようですが、内訳などはまだわかりません。藤沢での上映がまだだったので、そちらから結構みえました。

県央支部

井上正男

関東ブロック会議の前、13日(木)、伊勢原市民会館ホールで「わが青春つきるとも・伊藤千代子の生涯」の上映に取り組みました。

上映会は「七沢多喜二の会実行委員会」と治賠同盟県本部共催でしたが、地元県央支部も一端を担い奮闘しました。

(4面3段目に続く)

湘南支部

第29回総会開催

支部長 江藤みさお

10月15日午前10時より、湘南支部総会を開きました。

再建からは2回目の総会です。参加者は7名、事務局4名計11名で行いました。

日本共産党岡崎裕湘南地区委員長、日本共産党藤沢市会議員土屋としのり議員、県本部宗形孝至会長が出席して下さい、ごあいさつして下さいました。

来賓の方々のお話しを聞き、政治改革が必要で、今こそ岸田政権を打倒し日本共産党と我が同盟の発展こそが治安維持法同盟の要求実現の近道だとつくづく感じました。

また、出席のみなさんに治安維持法の原文のコピーを配りし、どのような文で、私たちの先輩同士を戒め、拷問し、死に至らしめたのかを改めて確認しました。

富矢信男顧問が情勢報告を



富矢顧問

致しまして、その後、フリートークの時間を設けました。

みなさん、活発に発言されていました。

質問も色々出ましたが時間の関係で説明しきれなかった質問もあります。説明しきれなかった事の勉強会が開けたらと思います。

治安維持法はインターネットで検索すると直ぐに出てきます。との発言もありました。治安維持法で検索してみると子ども用学習サイトも色々有る事を知りました。きちんと選んで学習して貰いたいと思いました。

次回の総会は今回の反省点を改善し、多数の方に出席して頂き、良い報告が沢山できる総会にして行きたいと思います。

(3面より続く)

結果は、2回上映で260名の参加でした。目標400人には届きませんでした。20人からの感想の一つに、「権力は現代においても力を持つています。自身の学びを基に権力に抗して散った女性の生き方に深い感銘を受けました。映画にして下さった方々や上映に携わった方々に御礼申し上げます」があり、励まされる中身でした。またこの

【同盟県本部日程】

県本部常任理事会

11月22日(火)

午後2時

同盟費納入と「年末募金」のお願い

県本部財政部長

小松原繁夫

県本部の財政状況は、高曇とみています。コロナ過で行われなかった(関東)ブロック交流会、全国女性交流集會も行われます。しかし、予算執行に支障をきたす事はありません。これも同盟員の皆様のご協力のおかげです。

いま、同盟中央は、100%会費納入と「年末募金」を呼びかけています。同盟費は、活動の根幹です。その同盟員が、漸減傾向です。この事が「曇」の原因です。

年末募金は、小口でも県全体では、大きな財源です。年末を控えせわしい時期ですが、同盟員の皆様のいっそうのご協力・ご支援をお願いします。